

2019年度 事業報告書

(事業期間：2019年4月1日～2020年3月31日)

I. 楽団の概要

1. 設立年月日

2017年5月28日

2. 定款に定める目的

この楽団は、管弦楽曲により地域の音楽芸術の普及を図り、もって地域文化の発展に寄与する事を目的とする。

3. 定款に定める事業内容

この楽団は、前条の目的を達成するため、以下の事業をおこなう。

- (1) 管弦楽曲、室内楽曲及び、古楽の演奏
- (2) 地域の音楽芸術の普及
- (3) その他この楽団の目的を達成するために必要な事業

4. 楽団理念

この楽団は、以下の楽団理念を掲げ、地域の人びとの信頼と期待に応え、お客様に喜ばれる演奏を提供するべく、活動している。

公正誠実

わたしたちは、オープンで公正誠実な活動をし、ステークホルダーの皆様から信頼される楽団を目指します。

地域貢献

わたしたちは、演奏活動を通じて地域の音楽芸術の普及を図り、地域社会への貢献に努めます。

研鑽琢磨

わたしたちは、弛まぬ研鑽琢磨に努め、お客様の要望・期待にお応えする魅力あふれる演奏の提供を実現すべく、果敢に挑戦し続けます。

5. 行動指針

この楽団は、以下の5項目の行動指針を掲げ、たとえアマチュアの楽団であっても、組織としての社会的責任を認識し、活動している。

(詳細：<http://fco.xrea.jp/aboutus/principle.php>)

- ・ コンプライアンス
- ・ 人権
- ・ 安全
- ・ 環境
- ・ 演奏活動

II. 事業活動

1. 事業の実施状況

(1) 第二回若葉コンサート

(事業概要)

日時	2019年5月26日 14:00開演(13:30開場)
場所	ふじみ野市立 勤労福祉センター
指揮	武田 真宜 先生 (楽団 常任指揮者)
ソプラノ	栗田 真希子 先生 (ミミ役)
テノール	小林 浩 先生 (ロドルフォ役)
曲目	(第一部) J.オッフェンバック 喜歌劇《天国と地獄》より序曲 B.バルトーク ハンガリーの風景 G.プッチーニ 歌劇《ラ・ボエーム》第1幕から (第二部) A.ドボルザーク 交響曲第9番《新世界より》 P.I.チャイコフスキー くるみ割り人形から「花のワルツ」(アンコール) G.ヴェルディ 歌劇《椿姫》より乾杯の歌(アンコール)
集客	座席598席に対し、98名の集客であった。
アンケート結果	アンケートの回収数54枚(回収率55%) アンケート回答のあったお客様のうち、100%のお客様に「満足」、もしくは「大満足」の回答を頂けた。
所感	来客数が想定より大幅に少なく、広報の方法に課題が有りと考える。アンケートの分析結果より、ご来場いただいたキッカケとして、「口コミ」が一番効果が有り、次点で公民館や図書館に置かせて頂いたチラシとなった。多くの方に楽団が出来た事を「認知」して頂き、「口コミ」に繋げていく為にも、精力的に活動を続ける必要があると考える。また、市民文化祭などへも参加してゆき、地元で管弦楽団が出来た事をアピールしてゆきたい。

(決算概要)

経常収益	228,000 円
経常費用	390,145 円
経常増減額	△162,145 円

(2) クリスマスコンサートコンサート

(事業概要)

日時	2020年12月22日 14:00開演 (13:30開場)
場所	ふじみ野市立 勤労福祉センター
指揮	武田 真宜 先生 (楽団 常任指揮者)
曲目	(第一部) ジェームス ジングルベル G.ロッシーニ 《セビリアの理髪師》より序曲 A.コレッリ 合奏協奏曲 作品6の8 《クリスマス協奏曲》 (第二部) L.van.ベートーベン トロンボーンのための3つのエクアール L.van.ベートーベン 交響曲 第7番 イ長調 作品92 L.アンダーソン そりすべり
集客	座席598席に対し、117名の集客であった。
アンケート結果	アンケートの回収率50%以上。ほぼ100%のお客様に「満足」、もしくは「大満足」の回答を頂けている。
所感	前回の若葉コンサートと同様、アンケートに「集客数がすくない」とのお叱りも散見され、引き続き、課題と考える。 しかしながら、今回はソリストの先生方の力もあって98名の集客、今回はほぼ楽団の力で117名の集客であり、広報活動に多少の効果は認められたと考えられる。 引き続き、広報活動にも力を入れ、地元で管弦楽団が出来た事をアピールしてゆきたい。

(決算概要)

経常収益	236,900 円
経常費用	420,858 円
経常増減額	△183,958 円

2. 重要な契約に関する事項

以下の通り、指導者を招いた。

	氏名	契約内容
指揮者	武田 真宜 先生	月に1~2回、楽団指導をする。
弦楽器トレーナー	宮下 玲衣 先生	月に1~2回、楽団指導をする。

3. 会議の開催

(1) 定期総会

2019年6月1日に2019年度定時総会を実施。

運営上の主な変更点としては、団費を5000円/月から、3000円/月に改定した。

(2) 臨時総会

臨時総会は実施しなかった。

(3) 役員会

役員会は実施しなかった。

4. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

(単位：円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
前期繰越収支差額	0	0	65,856	78,897	
当期収入合計	0	253,104	1,014,278		
当期支出合計	0	187,248	1,001,237		
当期収支差額	0	65,856	13,041		
次期繰越収支差額	0	65,856	78,897		
資産合計	0	115,756	167,897		
負債合計	0	123,000	520,000		
正味財産合計	0	△7,244	△352,103		

※項目について

収支の範囲について...現金、預金

III. 楽団の課題

1. 事業に関して

楽団の立ち上げから間もないためか、経常収益と経常費用のバランスが取れておらず、期末正味財産の残高がマイナスとなっている。対応策としては、以下の点を引き続き、取り組む。

- ① 楽団の認知度を上げ、集客数の向上に取り組む。
演奏会に来場いただいたお客様からも、「集客が少ない」とアンケートにてお叱りを受けている点からも、集客数は、大きな課題となる。
- ② 正団員の確保。

2. 運営に関して

(1) 経理業務

当楽団は、公益法人ではないため至急の課題ではないが、以下の点に未対応であり、順次、取り組み予定である。

- ・ 「公益法人会計基準に関する実務指針」の平成30年度の改正
- ・ 「指定正味財産」（用途指定のある寄付金、助成金など）の計算

また、以下は、可能であれば自動化したい項目となる。

- ・ 「正味財産増減計算書内約表」の自動生成
- ・ 「財務諸表の注記」を記載する上で必要となる表の自動生成
- ・ 「財産目録」の自動生成

また、いずれ楽団で楽器などを購入した際は、固定資産に関わる諸表の作成及び、減価償却の計算などへの対応も必要となる。

(2) 楽団ホームページ

- ・ 現在、インターネット検索エンジン「Google」では、モバイル対応したホームページを優先的に検索する取り組みを実施しているが、現在、楽団ホームページは、モバイル対応ができていない。SEO対策（検索エンジン最適化）による団員確保・集客のためにも、対応が急がれる。
- ・ 「Google」が進めるリッチリザルトの「パンクズリスト」への対応によるSEO対策（検索エンジン最適化）。こちらも団員確保・集客のためにも、対応が急がれる。
- ・ 演奏会情報ページの自動化ができていない。「Google」が進めるリッチリザルトの「イベント」に対応した上のデータベースを作成し、自動化する予定。
演奏会情報を載せないわけにはいかないため、現状は暫定的に、演奏会情報ページは手動でHTML（PHP）を書き作成している。

IV. 決算期後に生じた楽団の状況に関する重要な事実

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、演奏会の開催、練習活動が困難な状況となっている。8月30日(日)に計画していた、サマーコンサートは、5月段階で練習活動を開始できず、準備等を間に合わせるのが困難と考え、中止判断とした。